

世界の都市農業を 見てみよう!

ニューヨーク、ロンドン、ジャカルタ、ソウル、トロント



WORLD



ライフ!

農のあるまち♡ ねりまを楽しもう!



TOKYO



ライフ!

in 練馬

発行元：練馬区広聴広報課 TEL:03-5984-2693

世界都市農業サミット



世界都市農業サミット in 練馬

2019.11.29 [Fri] ~ 12.1 [Sun]

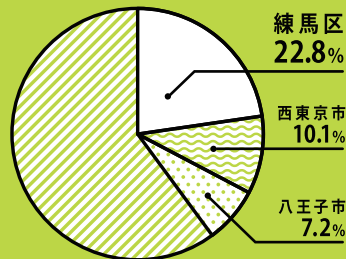
「とれたて♡」ライフは、 おいしくて楽しい。

いろんなところに畑があって、
いろんな作物が育てられている
「とれたて♡」のまち、ここ練馬。
旬のおいしさを新鮮なまま味わうだけでなく
家族みんなで野菜を育てたり、フルーツ狩りを楽しんだり。
そんな暮らしの中には、子どもたちが学べることも
ご近所さんと仲良くなるきっかけも、たくさんです。
おいしくて楽しい「とれたて♡」の暮らし
あなたも、このまちで叶えてみませんか？



こんなにスゴイ! 練馬の「とれたて♡」データ

その♡1



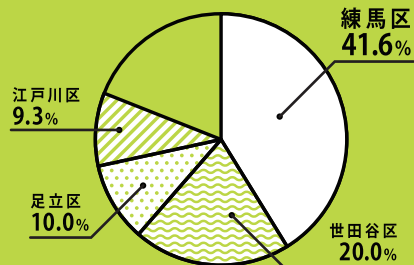
キャベツの収穫量、 都内No.1!

都内のさまざまな地域で盛んに栽培されているキャベツですが、そんな中でも練馬区の収穫量はピカイチ! 都心のスーパーなどでも、練馬育ちのキャベツに出会えるかもしれません。

農地の広さ、

23区No.1!

23区にある農地のうち、なんと4割もの広さが区内に集中。畑がたくさんあるまちには人が少ないイメージもありますが、ここ練馬では、暮らしと農業がしっかりと共存しているんです。



こんなにスゴイ! 練馬の「とれたて♡」データ

その♡**2**

とれたて♡インフォメーション



農業体験農園の区画数、

全国No.1!

農園主の指導やサポートのもとで野菜づくりを体験できることから、ビギナーの方にも人気の「農業体験農園」。実は練馬からスタートした取り組みで、今もたくさんの区画が運営されています。

練馬区 1,822区画



区内には

たくさんの農園が!

農地の区画を借りて野菜づくりや収穫を楽しめる区立の農園が、練馬区にはなんと26園(1,741区画)も! 近所で野菜を育て、収穫したらすぐにキッチンへ。都会に住みながら農園ライフが楽しめます。



令和元年9月時点

マルシェ

公園や駅前など区内のさまざまな場所で、つくり手さんから農産物を“直接”買えるマルシェが開かれています。開催情報は、練馬区HPなどをチェック!



練馬区 農の学校

とれたて野菜ができるまでの、農業の流れを学ぶプログラム。農家を支える人材を育成しています。お子さまと一緒に参加できる体験コースもあります。



JA東京あおばの 農産物販売所

区内4ヶ所にあるJAの販売所には、地元の「とれたて♡」が大集合。野菜やフルーツに加えて、季節の切り花、植木なども購入できます。



2019.11.29-12.1

世界が練馬にやってくる!

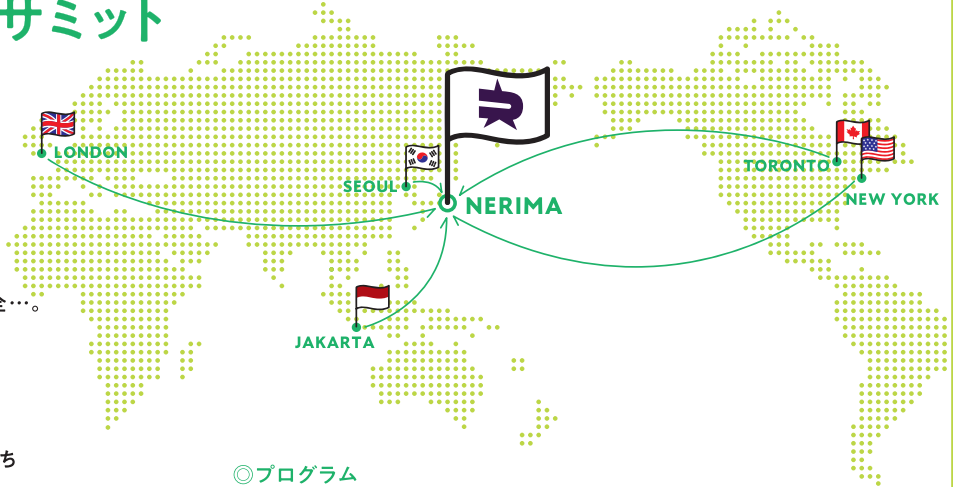


世界都市農業サミット in 練馬

都市における農業や農地の役割・魅力が見直され、暮らして農を近づけるさまざまな取り組みが今、各国で動き出していることをご存知でしょうか。新鮮な食材をまちに届けるのはもちろん、子どもたちの教育やコミュニティづくり、防災、環境保全…。人々の生活を豊かにできる、たくさんの可能性が都市の中で行われる農業＝「都市農業」にはある。そのことに、世界が気づき始めています。

東京23区にありながら、都市農業がしっかりと息づくまちここ練馬で、「世界都市農業サミット」を開催します。参加するのはニューヨークとロンドン、ジャカルタ、ソウル、そしてトロントの5都市。

練馬やサミット参加国のおいしいものがならぶ「ねりマルシェ」や、カクテルを味わったりジャズを楽しんだりできる「World JAZZ」、海外の文化に触れられる「ねりまワールドフェスティバル」など区民のみなさんに向けた催しも盛りだくさん。練馬と世界の都市農業が出会う3日間のビッグイベントにお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。



◎プログラム

11.29 (Fri)	記念コンサート「World JAZZ」／練馬文化センター
11.30 (Sat)	国際会議(分科会)／区民・産業プラザ(Coconeri3階) 練馬大根引っこ抜き競技大会／区内農地
12.1 (Sun)	国際会議(シンポジウム)／練馬文化センター みんなde農コンテスト／練馬文化センター ねりマルシェ／平成新公園 ねりまワールドフェスティバル／区民・産業プラザ(Coconeri3階)





蘆原区(ノウォンク)
週末体験農園



開発制限区域内で営む
伝統的農業



大学の屋上農園
Ryerson University HPより



ブラッククリーク・コミュニティ
ファームの直売所

ソウルの都市農業は屋上・裏庭などを活用した園芸活動や、郊外の市民農園での活動が中心で、レジャーや教育が主な目的となっています。2011年から進めてきた振興施策によって、市内の都市農業空間は約6倍に拡大。ソウルでは、毎年都市農業EXPOを開催するなど、市民が都市農業に参加するきっかけを生み出しています。



ソウル

市内の都市農業空間が
約6倍に拡大



リーゼンツ・パーク内の
市民農園



学校農園と養蜂の様子
昨年度のプレイベント招待者・
マーク・アインズバリー氏発表資料より

ロンドンの都市農業には大きく分けて、地域活動によるコミュニティ農園と区画貸しの市民農園の2タイプがあります。このうちコミュニティ農園については2012年オリンピック開催の際「2,012ヶ所の農園を開設する」という目標を掲げ、みごと達成しました。コミュニティ農園でつくられた野菜の一部は一般にも流通し、市民に「とれたて♡」のおいしさを届ける手段のひとつとなっています。



ロンドン

オリンピックに合わせて
農園を2,012ヶ所開設



ガンヒジョウ
(路地でのポット栽培)

ジャカルタでは、急速な都市化により自然破壊が進行し、気候変動や洪水の多発など深刻な問題を抱えています。そういった環境問題を解決するべく、行政と市民の連携が進められているのが「ガンヒジョウ」(緑の路地)と名付けられた緑化活動です。運営の中心は、地域の住民たち。州政府は専門的なコンサルティングや、種栽培用ポット等の提供といった役割を担っています。



ジャカルタ

急激な都市化に対して
官民連携で環境を改善



トロント

移民たちと地域を
農園が結びつける



市民の約半数が、海外からの移民というトロント。移民たちを地域とつなぐ役割を担っているのがコミュニティ農園です。「ブラッククリーク・コミュニティファーム」では、利用者の祖国の農産物も栽培され、地域住民に供給されています。その他、ハリケーンで荒れた流域部に畑をつくる施策や、条例による屋上農園の開設など、環境保全を目的とした官民連携の活動が盛んなこともトロントの特徴です。

まちと融合した 都市農業のあり方が、 世界でも広がり始めています。

住宅地の中に畑が点在する練馬の風景は

東京だけでなく、欧米などの他都市を見ても

なかなか出会えるものではありません。

けれど、暮らしと農業がぴったり寄り添うことで叶う

豊かなライフスタイルは今、すこしずつ注目を集め

練馬のように、まちと融合した農業のあり方が

海外でも広がり始めています。

目的や手法、育てられる作物もさまざまな

世界の都市農業、ちよつと覗き見してみませんか？



ニューヨーク

社会の課題を都市農業で解決



ニューヨークでは「グリーンサム」という事業により、約550ヶ所の農園が運営されています。この活動は1970年代、市の財政危機の際に荒れ果ててしまった空き地を憩いの空間として再生させようと、市民たちが植物を植え始めたのがきっかけで、現在では野菜の栽培・販売を通して、若者の就労支援や都市への新鮮な野菜の供給にも取り組んでいます。一方で近年、ベンチャー企業が行うハイテク型の都市農業も盛んなニューヨーク。ユニークなところでは商業施設の屋上に栽培施設を設け、そこでとれた作物を階下のスーパーで販売するという、まさに「とれたて♡」な取り組みも行われています。

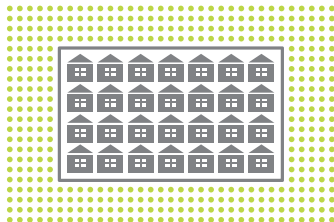


ニューヨーク中心部公営住宅敷地内にある農園。
若者の就労支援を行っています。



ベンチャー企業によるアメリカ最大級の屋上農園 ©Brooklyn Grange Rooftop Farm

◎欧米の一般的な都市構造



都市部と農地が区別される形で発展してきましたが、近年では住宅地のそばに畑を設ける価値が見直されつつあります。

◎練馬の都市構造



住宅地と畑が混在しており、農業が人々の暮らしの中にしっかりと息づき受け継がれています。